



富田市長（左）に答申する橋本委員長

2/27 いじめ防止 基本方針案を答申

市いじめ防止専門委員会は、いじめ防止に関する具体的な行動指針をまとめた「いじめ防止基本方針」案を富田市長に答申しました。

基本方針では、いじめ防止策や相談体制、連携について定めており、早期発見や当事者へのケアについても触れています。

橋本委員長は「市の基本方針により、学校でも基本方針を作りやすくなると思います」と話しました。

3/9 お父さんと一緒に楽しいね

兼山で親育ち講座「可児の歴史を学んで健康づくり講座」が開催されました。

父親の育児参加や母親に休息をプレゼントするという目的で参加者を「父親と子」に限定したこの講座には、19組 49 人の親子が参加しました。

参加した親子は美濃金山城跡を巡るスタンプラリーや、昼食には親子で作ったおにぎりを頼るなど、父と子の時間を楽しんでいます。



講座に参加した皆さん

3/11 親も子どももリラックス

総合会館で、生後2～6カ月の子とその親を対象にしたベビークラスが開催されました。クラスでは赤ちゃんとの生活、産後のからだについての講話、参加者同士の交流が行われました。

保健師による講話や簡単なストレッチで身体と心をほぐした後に交流が始まると、同じ年頃の子どもの持つ親同士で会話も弾み、リラックスした一時を過ごしていました。



ベビークラス参加者の様子

広告



可児工業高校体験ブースの様子

2/23 未来へつなごう みんなで環境まちづくり

広見公民館ゆとりピアで、可児市環境フェスタが開催されました。市民団体・事業者・行政の3者で開催するこの催しは、今回で 14 回目となります。

気象予報士による講演や市内4小学校の児童による環境学習の成果発表が行われたほか、参加団体のブースでは展示や体験、無料配布などそれぞれ趣向を凝らした催しがあり、たくさんの来場者が環境について楽しく学んでいました。

2/26 小中学校の活動が表彰

環境や体育、図書などにおける取り組みについて表彰を受けた市内の小中学校の児童生徒が、その成果を市長に報告しました。

表彰を受けたのは蘇南中学校、今渡南小学校、帷子小学校、東明小学校、南帷子小学校の5校。

児童や生徒は賞状やパネルを見せ、活動を通じて感じたことや受賞の感想を語り、これからも活動が続けたいと市長に伝えました。



取り組みが表彰された児童生徒



商品のトートバッグを手にする生徒

2/26 私たちが開発したバッグを販売します

広陵中学校の生徒が市長を訪問し、昨年 10 月に立ち上げた模擬会社「TOP」の活動を報告しました。

これは広陵中で行うキャリア教育の一環として行われている活動で、生徒が自ら出資金を募り、商品開発から販売までを行う中で会社を設立したものです。

生徒たちは開発したトートバッグを市長に見せ、商品を作る際の工夫やこれまでの活動を報告し、販売への意欲を見せました。

2/27 子育てハンドブックを協働発行

市は、住宅地図メーカー「ゼンリン」と協働で子育てハンドブック「きっずナビ」を発行することとなり、協定書を締結しました。

「きっずナビ」には、市の子育て支援情報のほか、公共施設の案内、医療機関のリストなどを分かりやすく掲載します。7月には、小学生未満の子どもがいる世帯に配付する予定です。

製作に掛かる費用は、掲載する企業広告料で賄います。



協定を結んだ岡野岐阜営業所長（右）と富田市長